

いつかくる大災害に備えて



1月22日、小浜町で東海、東南海・南海地震が発生したことを想定した市総合防災訓練が行われ、地元住民をはじめ、約420人が参加しました。

訓練は、津波を想定した避難訓練をはじめ、県防災航空隊・海上保安部・鳥羽消防の連携による海上漂流者救出訓練や、鳥羽商船高等学校の鳥羽丸と地元漁船による物資搬送・受渡し訓練、自衛隊と町内会、市職員による炊き出し訓練など、各関係機関連携のもとさまざまな訓練が行われました。

このほか、車両展示や体験訓練などもあり、参加者は積極的に各訓練に参加していました。

池上町であやつ作り教室



2月5日、池上地区青少年健全育成会（濱口晃吉会長）は鳥羽小学校で「おやつ作り教室」を開き、地元の小学生23人が参加しました。

近年、一人で遊ぶことが増えていると言われるこどもたちに、地域とのつながりや、協力して作ることの大切さを知って欲しいという思いから開いたもので、同会や婦人団体の「鳥羽最寄り」のメンバーがレシピを作り、小松菜の蒸しケーキやフルーツポンチなどを作りました。

濱口会長は「家に帰ってからも家族で楽しみながら作ってみて欲しい」と話してくれました。

まちの話題 1月号



J Aバザーの収益金寄贈

J A鳥羽志摩から市社会福祉協議会へ、昨年の12月19日に開催されたJ Aまつりのリサイクルバザーでの収益金の一部に当たる5万円が寄付され、1月12日、保健福祉センターひだまりで寄贈式が行われました。

J A鳥羽志摩からの寄付は、J Aまつりが実施されてから続いており、今回で6回目となります。

市社会福祉協議会の森下幸穂会長は、「社会福祉に役立たせていただきます」とお礼を述べていました。

資源循環型社会を目指して



「第2回生ごみリサイクルフォーラム in 鳥羽」が2月4日と5日の両日、戸田家で開催されました。

このフォーラムは、生ごみの堆肥を使った資源循環の社会を目指し、市民・農業研究者・企業・行政などさまざまな分野間の情報交換を通じて、堆肥化技術の向上を図り循環サイクルの実現に向けて「NPOとばりサイクルネットワーク」が主催したものです。

1日目には基調講演や先進地事例発表が行われ、2日目には2グループに分かれての分科会の後、リサイクルパークの見学があり、垣根を越えて活発に意見交換をする姿が見られました。